

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

神奈川県松田町

2022年9月

**SDGs未来都市計画名**

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

松田町SDGs未来都市計画

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

松田町SDGs未来都市計画

## (2) 2030年のあるべき姿

「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」を実現するとともに、松田町第6次総合計画において定めた町の将来像「いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷」が達成されている。

その実現に向けて、R E S A SやD X（デジタル・トランスフォーメーション）を活用した地域課題の解決など、未来技術の活用を積極的に検討し、各種施策を推進することで次の6つの基本目標と松田町版SDGsを達成していくこととする。

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232人	2021年 64人	2022年 400人	-100%
2	松田ブランド認定品の売上額 【8.3、8.9】	2019年 7,604千円	2021年 9,311千円	2024年 15,000千円	23%
3	町内における累計起業件数 【8.3、8.9】	2019年 1件	2021年 5件	2024年 5件	100%
4	木質バイオマス燃料（薪）の生産量 【9.4】	2019年 0t	2021年 10t	2023年 150t	7%
5	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232人	2021年 64人	2022年 400人	-100%
6	再生可能エネルギー出前講座参加者数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 0人	2021年 0人	2023年 90人	0%
7	I C T環境を活用した授業の割合（年間） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 49%	2021年 81%	2024年 80%	103%
8	花の植栽活動実施箇所数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 60箇所	2021年 60箇所	2023年 100箇所	0%
9	地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 20箇所	2021年 20箇所	2023年 全地域を網羅	0%
10	自治会への加入率 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 91.24%	2021年 89.07%	2023年 94%	-79%
11	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232.00人	2021年 64人	2022年 400人	-100%

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
12	施業森林面積 【6.6、15.2、15.4】	2019年 16 ha	2021年 16 ha	2022年 20 ha	0%
13	一人一日あたりのごみ排出量 【12.5】	2019年 891 g	2021年 823 g	2022年 820 g	96%
14	木質バイオマス利用設備の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減量 【7.2、13.3】	2019年 0 t-CO <sub>2</sub>	2021年 12.9 t-CO <sub>2</sub>	2022年 145.1 t-CO <sub>2</sub>	9%
15	COOL CHOICE事業賛同者数 【7.2、13.3】	2019年 778 人	2021年 959 人	2023年 1,600 人	22%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・全体を通じて、コロナ禍によりイベントなどの開催が制限されたことにより、達成状況に遅れが生じている。今後は、「新たな生活様式」に対応した事業の実施などについて、引き続き模索する必要がある。

・「No.1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年実施している全自治会における座談会は開催せず、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）・アンケート調査を実施しました。近年では、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。

・「No.10 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。転入者が自治会しない理由として、コロナ禍により「まつり」など、自治会でのイベントが開催されておらず自治会に加入するメリットが薄れていることが考えられる。

・本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、本年度8月に薪製造団体を選定し、本格的に動き始めた。木質バイオマス事業における雇用の創出や、森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいている。その他、関係交流人口の増加や薪製造団体主催イベント開催など、計画内に示していないところで効果が現れている。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、町健康福祉センター温浴施設の営業日が週6日から週5日になったことに加え、営業時間も1時間短縮されたことにより、薪の供給量が減少した。また、温浴施設のお湯の焚き付けに際し、依然灯油を使用している関係上CO<sub>2</sub>排出量を削減しきれていないことが現状であるため、目標達成に向けて木質バイオマスボイラーの稼働方法においても検討すべき課題である。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト	地域座談会や出前講座等への参加者数	2019年 232 人	2021年 64 人			2022年 400 人	-100%
2		自治会加入率	2019年 91.24 %	2021年 89.07 %			2022年 94 %	-79%
3		防災訓練への参加者数	2019年 2,539 人	2021年 0 人			2022年 3,300 人	-334%
4		地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）	2019年 20 か所	2021年 20 か所			全地域を網羅	0%
5	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	商工業販売・出荷額	2019年 120.3 億円	2021年 156.2 億円			2024年 135.0 億円	244%
6		新松田駅における定期外乗車人員数（年間）	2019年 1,713,288 人	2021年 データなし			2024年 1,742,385 人	-
7		松田駅における定期外乗車人員数（年間）	2019年 511,368 人	2021年 データなし			2024年 516,845 人	-
8		新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率	2019年 50 %	2021年 50 %			2022年 100 %	0%
9		2020～2024年の5年間における社会移動数	2019年 ▲ 223 人	2021年 ▲ 85 人			2024年 ▲ 137 人	160%
10	③ 地域資源のブランド化プロジェクト	生涯学習事業への参加	2019年 30 %	2021年 58.4 %			2022年 70 %	71%
11		観光客数	2019年 665 千人	2021年 374 千人			2022年 788 千人	-237%
12		松田ブランド認定品の売上額	2019年 7,604 千円	2021年 9,311 千円			2022年 15,000 千円	23%
13		木質バイオマス燃料（薪）の生産量	2019年 0 t	2021年 10 t			2023年 150 t	7%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
14	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	女性による創業・起業件数	2019年 0 件/年	2021年 1 件/年			2022年 1 件/年	100%
15		合計特殊出生率	2019年 1.65	2021年 データなし			2024年 1.32	-
16		保育所・学童保育の待機児童数	2019年 0 人	2021年 0 人			2024年 0 人	100%
17		健康づくり事業へ参加者数（年間：延数）	2019年 649 人	2021年 1,079 人			2024年 1,500 人	51%
18		介護予防事業へ参加者数（年間：延数）	2019年 5,663 人	2021年 2,357 人			2024年 7,200 人	-215%
19		地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）	2019年 20 か所	2021年 20 か所			2023年 全地域を網羅	0%
20		民生委員児童委員の配置	2019年 34 名	2021年 36 名			2023年 37 名	67%
21		認知症カフェの維持	2019年 1 か所	2021年 1 か所			2022年 1 か所	100%

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「まつだグリーンパートナー認定制度（仮称）」について、令和4年7月に制度を開始できるよう、制度内容などについて検討を進めた。  
 本制度により、町内でSDGsの目標達成や地域課題の解決に向けて活動している個人・法人・団体等の活動を見える化することで、町とパートナー、パートナー同士のマッチングの機会を創出したい。  
 また、町とパートナーとのマッチングのみではなく、パートナー同士もマッチングできることにより、地域課題の解決がさらに促進されるとともに、持続的に取組みが推進され、自律的好循環の形成を図ってきたい。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・全体を通じて、コロナ禍によりイベントなどの開催が制限されたことにより、達成状況に遅れが生じている。今後は、「新たな生活様式」に対応した事業の実施などについて、引き続き模索する必要がある。

・「No.1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年実施している全自治会における座談会は開催せず、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望自治会のみ）・アンケート調査を実施しました。近年では、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。

・「No.2 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。転入者が自治会しない理由として、コロナ禍により「まつり」など、自治会でのイベントが開催されておらず自治会に加入するメリットが薄れていることが考えられる。

・「No.18 介護予防事業へ参加者数（年間：延数）」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、令和4年2月から3月まですべての介護予防事業を休止したため、参加者数が減少しました。このような中、自宅で行える運動メニューをまとめた資料の配布などにより、継続的に対象者への支援を行いました。

・本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、本年度8月に薪製造団体を選定し、本格的に動き始めた。木質バイオマス事業における雇用の創出や、森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいている。その他、関係交流人口の増加や新製造団体主催イベント開催など、計画内に示していないところで効果が現れている。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、町健康福祉センター温浴施設の営業日が週6日から週5日になったことに加え、営業時間も1時間短縮されたことにより、薪の供給量が減少した。また、温浴施設のお湯の焚き付けに際し、依然灯油を使用している関係上CO<sub>2</sub>排出量を削減できていないことが現状であるため、目標達成に向けて木質バイオマスボイラーの稼働方法においても検討すべき課題である。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

・リモートの活用を含めた、町民及び企業等との対話の機会を検討いただくことが望まれる。

・松田ブランド、バイオマスエネルギー、地域の居住人口、交流人口の拡大に向けての好循環を具体的な事業として実現する体制づくり、事業展開を期待する。

・コロナ禍を踏まえ、今後の新しい生活様式を見据えた計画の見直しが必要であると思料する。

・まつだグリーンパートナー認定制度に関して、持続的な取組となるべく、どのような組織とどのような連携を深めていくことが望ましいのかという点について、具体的な地域課題を洗い出し、わかりやすい成果を積み重ねていくことが更なる課題の抽出や連携の増加につながると思料する。